



碧南ロータリークラブ週報

第2227回例会 平成16年6月23日(水) 曜.最高30.4℃.最低22.4℃

- 会長 加藤 良邦 ● 幹事 竹中 義雄 ● SAA 杉浦 成人
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
TEL <0566> 41-1100 FAX <0566> 48-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 竹下 豊・新美惣英・鶴田光久・杉浦昌裕

2003~2004年度
国際ロータリーのテーマ
手を貸そう



Lend a Hand

● 齊唱

ロータリーソング「ロータリー讃歌」

● 本日のメニュー

和風弁当 とんがり帽子

● 本日のお客様

元東山植物園 園長 坂梨一郎氏



会長挨拶

皆様、こんにちは。本日の最終例会を迎えてました事をこの席をお借りして厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

長い様で短い、短い様で長い1年間でしたが、皆様方に絶大なご指導を頂き、本日を迎えることが出来ました。特に理事会メンバーの皆様、会報担当の皆様には、毎週色々な事を言ってご迷惑をおかけしました。厚くお礼申し上げます。そして竹中幹事には、本当に世話をになりました。彼の掌の上で楽しく踊らせてもらった1年であったと感謝の気持ちで一杯でございます。

最後に、45周年という年に大役を務めさせて頂き、人生の新しい良き出会いを得られた貴重な1年になりました。本当にありがとうございました。

45周年実行委員長

皆さんこんにちは、45周年の記念誌をお届け出来まして、ほっとしています。

本年度中にお渡し出来たことを、大変喜んでいます。

長田委員長 始め各委員の方々の努力に感謝しています。記念誌の発行で45周年記念事業が全て終了しました。

45周年の各委員長の方々、特に大会幹事の青木さん 始め皆さんそして会員の皆様のご協力により、無事終わりました事を感謝しお礼を申しあげます。



永井 一君

副会長挨拶

皆さんこんにちは、副会長ということで1年間有り難うございました。
加藤会長の代理で4回挨拶をさせて頂きました。
第1例会が多く、記念品を皆様にお渡しする役が

思い出に残っています。

さまざまなご協力を頂き、有り難うございました。お礼申しあげます。



三島 正君

幹事報告

最後の幹事報告をさせて頂きます。例会等の変更については資料の通りです。本日3週連続の100%出席で締めることができます。出席奨励委員会にお世話になりました。良い流れが出来たこと大変喜んでいます。有り難うございました。

1年間のお礼の挨拶をさせて頂きます。毎週毎週不安の中で出席させて頂きました。特に会長方針をどこまで理解して、幹事の役目が果たせたか自信はありませんが、会長は「俱会一処」〈ともに同じ所に集う〉を方針とされました。

大阪の国際大会において、実感させて頂き勉強になりました。皆様のおかげで大役を務めさせて頂きました。



竹中 義雄君

次年度幹事報告

皆さんこんにちは、私は再来週から始まるということで、緊張しています。

「ガバー月信配信開始のお知らせ」の案内が入っています。アドレス使って、アクセスを是非行って下さい。



黒田 昌司君

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 75名 (内出席免除者 14名) 出席者60名

出席対象者 48/61名	出席率 78.69%
欠席者15名(病欠者0名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

永井 一君 今日皆様のお手元に45周年の記念誌をお届けする事が出来ました。長田委員長を始め委員の人々の御努力に厚く御礼申し上げますとともに、会員の皆様のご協力に感謝します。

- 榊原 義嗣君 ガバナー補佐、補佐幹事無事に終わりました。皆様方のご協力に感謝します。
- 岡田 超勇君 45周年記念誌を手にしてたいそう嬉しい。長田豊治委員長に感謝します。
- 井上 達夫君 1年間会員の皆様にささえられ、今日を迎える事が出来ました。有難う御座いました。感謝
- 加藤 良邦君 米山委員会において一年間何かとお世話になりました。
- 木村 克美君

- 当社竹中さんにトイレ掃除で、お世話になりました。
- 岡田 趟勇君 クラブ奉仕委員長無事終りました。
- 原田 達八君 職業奉仕委員会には大変お世話になりました。
- 吉井才司先生に大変お世話になりました。ありがとうございました。
- 服部 一彦君 新世代委員会で皆様に大変お世話になりました。
- 植松 敏樹君 國際奉仕委員長として、一年間大変お世話になりました。
- 池田 弘孝君 一年間会長エレクトで、お世話になりました。
- 杉浦 晴彦君 雑誌委員会です。この一年間ロータリー機関誌「ロータリーの友」をよく読んでいただき、誠に有難うございました。感謝申し上げます。
- 青木稔さんには機関誌「ロータリーの友」歌壇に投稿、1年間ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。
- 鈴木 敏弘君 会員増強委員長として、一年間大変お世話になりました。有難うございました。
- 三嶋 正君 副会長一年間お世話になりました。ありがとうございました。
- 鈴木 昭洋君 孫が命拾いしました。吉井先生にお世話になりました。
- 竹中 義雄君 一年間会員の皆様には絶大なるご指導ご協力を頂き、お蔭さまで、無事お役目を努めることができました。心より感謝申し上げます。
- 杉浦 成人君 S A A として1年間皆様にご迷惑をお掛けしました。ありがとうございました。
- 長田 豊治君 記念誌委員会の皆様のおかげで、本日45周年記念誌をお配りできます。
- 社会奉仕委員長を無事終了できます。有難うございました。
- 石橋 嘉彦君 地域発展委員長として皆さんの1年間の協力を感謝申し上げます。有難うございました。
- 木村 徳雄君 広報委員会で、1年間お世話になりました。
- 倉内 裕君 1年間ご協力頂き有難うございました。
- 新美 真司君 親睦活動委員会、皆様のご協力の元、無事に一年を終えることが出来ました。ありがとうございました。
- 竹中 誠君 本日の卓話講師坂梨一郎氏を紹介させて頂きます。
- 清澤 聰之君 横山善久様、亀山裕一様台風の最中視察ご苦労様でした。
- 6/22の朝日新聞に清澤満之記念館を載せていただきました。

卓

話

「花と緑のまちづくり」

元東山植物園園長 坂梨 一郎氏

私はロータリアンでは有りませんが、RCにはお世話になっています。三十何年間東山植物園にいまして、最後は園長を8年務めさせて頂き卒業致しました。その頃、オール名古屋RCの社会奉仕委員会から退職するまで、毎年150万円頂き、植物園は貧乏な為とても助かりました。

アメリカでは美術館、動物園、植物園、博物館のトップの大好きな仕事は寄付集めでございます。そういう意味において私も園長になって寄付集めが一番大変でした。目標は1億円でしたが、おかげで退職の前日まで寄付を頂き1億6千500万円になりました。そんな訳で『あおいパーク』に来た時、今後色々事をする時の役所のトップは、寄付を集めることも大切ですよとお話ししました。

現在『あおいパーク』は非常に好調にやっていますが、農水省の農業活性化資金やJAの色々の資金にて構成されてスタートした訳です。植物を植える場所の温室は造ったんですが、その時点で1千万円がかかるお金しか残っていませんでした。このお金では何も出来ないので寄付を集



めたいと市長に申し上げましたら、もうすでに色々なところから寄付は貰っているので、これ以上心臓の強いことは言えないとの返答でした。それでも、集めて欲しいとお願ひしました。その結果数千万円集まりましたので、今の『あおいパーク』の植物部門は充実した事をやらせて頂けています。

東山植物園と勝負になりませんが、『小さくてもダイヤモンド』を目指そうと思いました。近くの発電所の石炭は全てオーストラリアから輸入されているとの事を知り、オーストラリアの植物を中心に集めたいという方針にしました。オーストラリアの植物は方々でコレクションされていますが、蒸し暑さが大嫌いです。でも碧南は海の方から爽やかな風がいつも吹いていて、風が湿気を全てさらってくれるので、『あおいパーク』は全国的にも珍しくオーストラリアの植物が屋外で60数種類も育っています。そんな訳で引き続き収集していきます。

今、浜名湖花博が開催中ですが10月第1週で終わる予定です。その後花博で使用した花はどこへお嫁入り(売られる)するのか。その中にはオーストラリアの植物も沢山あります。あおいパークの園長に、市費で無く、どこからかバックアップして貰い植物の充実を図る為に、またとないチャンスですとお伝えしました。

私は74歳です。東山植物園を卒業してからは豊橋植物園、あおいパーク、春日井植物園、デンパーク等のアドバイザーをやっています。私のねらいは、葉の裏にスジが1本入っていると言う様な珍品奇品を集める事で有りません。植物というものはおしゃれにディスプレーして見せる事が大切だと言うことです。アカデミックさは少し無くして、「おしゃれ」にした施設にして市民に見せる事と、利益を上げる事が大切だと考えています。そう言うことでは『あおいパーク』は良い成績を上げています。去年お盆に、野菜だけで一日の売上は200万円もあったそうです。無理のない『小さくてもダイヤモンド』で良かったと思っています。

花博の入場者目標は500万人ですが、すでに200万人に達成し非常に好調に進んでいます。その前は淡路花博がありました。その時は大震災の疲れのせいか、黒字でしたが些細なものでした。淡路花博は贅沢な施設を造り資金を使いすぎたので、浜名湖花博では贅沢施設は造らず質素に、ただ花だけは贅沢に沢山集めようという方針で進められました。

静岡は東海道新幹線の中央に位置し、東からも西からも人が沢山来ると言う状況です。今年の日帰りツアーは花博が独り占めです。名古屋市内でたとえますと、地下鉄終点より全部に旅行社がチャーターした花博のバスが出ていますし、金額も往復のバス代と入場券も含んで5,400～5,500円です。私の住んでいる日進市の近くの地下鉄赤池からも、多い日は4～5台も出るそうです。さらにシルバーさんは、600円～800円の割引があり 4,000円台で行けます。

花博を見に行くには、東海道新幹線に乗るまでもなく、豊橋までは特別快速か新快速に乗って、舞阪駅で降りて 500円のシャトルバスに乗っていくのが一番早いと思います。何しろ豊橋の駅にいると花博のパンフレットを持って楽しそうに話をしている 4～5人の女性のグループが非常に多いです。旦那様は毎日忙しがっているのに、奥さん方は花＊花＊花に向かっています。色々な意味において厳しい時代とは言われていますが、それでも今は花かなあと、日本はゆとりが有るなあと感じます。

花というものは、かつては趣味の対象でしたが、今は「暮らしのアクセサリー」という位置付けになりました。花は家の周りを飾る演出の小道具。花は自分の住んでいる街も、ビューティフルにする為の演出の小道具になって来ています。古い時代から『衣食足りて礼節を知る』と言われています。片方はイラクで戦争をしているにも関わらず、片方では浜名湖で花博です。日本はゆとりの有る国になって来ているんでしょうね。

来年は、『愛知万博』の年です。岐阜でも来年3月1日から100日間、可児市で第2回花フェスタが開催されます。万博会場から花フェスタ記念公園へは短時間で行けるので、万博を見た後つ

いでに寄って下さい。

岐阜県は『ダサイ』と言うことで有名でした。10年以上前ある新聞紙上にて全国県庁所在地の都市開発の『おしゃれ度』の調査で全国最下位が岐阜市と発表されました。翌年又調査があり、全国県庁所在地のJR駅前の都市開発『おしゃれ度』で、またも最下位がJR岐阜駅前という発表でした。そこで岐阜県知事は『ダサイ岐阜 イメージ戦略』が始まった訳です。その戦略は『花の都 岐阜』でした。『ダサイ』をクリアーするのはまず*花*戦略が良いと思われた訳です。『花の都 岐阜』の推進テーマは『花育て 花かざり』です。

昔の趣味の園芸は種類を集める、育てる、でも育てる技術は秘密主義でした。ただ自慢したがる園芸は終わり、これからはコレクションしたもの、育てたもの、を飾る事が大切ではないか。それをしないとコレクションしたものを持っているだけでは、園芸は趣味化の世界でしぼんでしまいます。もっとおしゃれに、花ある街づくりの延長にある『花かざり』をもっと大切にしようというテーマでバンバン進められています。

愛知県には公立の植物園が、豊橋の植物園、安城のデンパーク、小さいけれどあおいパーク、豊田の鞍が池、春日井に都市緑化植物園、に還暦を迎えた東山植物園と沢山有ります。そして、名古屋の松坂屋のそばには超アーバン型の『ランの館』が有り、すごくおしゃれです。今年の1月にオーストラリアから10人程度の人がここを見学した後の感想ですが、"ここの市長はすごい人だなあ"との評価でした。日本人は普通「ここは誰がやっているのか？センスの良い人がいるのか？園長が？キューレターか？」と言う風な評価ですが、オーストラリアの人は"この市長はすごいセンスを持っている"と言っていました。

愛知県は7～8つも公立の植物園が有りますが、それを維持していくことは大変な負担です。それが運営出来る愛知県や各市町村は本当に「ゆとり」が有るという事です。岐阜県には今まで公共の植物園が有りませんでした。でも『花の都 岐阜』という運動を推進して行く中間仕上げに、可児市で『花フェスタ』というイベントを開催させました。入場者目標50万人でしたが、40日間で191万人も入り大ヒットさせました。その結果『花フェスタ記念公園』が出来、来年の愛知万博の年にも第2回の『花フェスタ』を計画されています。と言う訳で岐阜県にも公立の植物園が1つ出来ました。三重県はまだ1つも有りません。いかにこの愛知県は大県で有ることが解ります。そして尾張より三河に多いということは、いかにこの地方は「ゆとり」が有るという事です。岐阜県知事は『花育て 花かざり』の戦略をもって、花いっぱいの岐阜県を作ろうと、イメージチェンジに繋げるため、県下にバンバン戦略を打ちたてました。1つは県独自の花の指導者の資格認定を作りました。かなり勉強しないと合格しないそうです。2つめは国際園芸アカデミーの創設で県立園芸学校です。ただ植え方や株分けの勉強をするだけでなく、どうやっておしゃれに飾れるか、それが花と緑のある街にどう貢献出来るかのプロを養成する学校です。3つめは『花フェスタ記念公園』に15億円かけて世界一の『バラ園』植物園を造って、来年の愛知万博の始まる直前に『花フェスタ』のイベントをする事です。バラが咲いていない時は、バラのミュージアム〈薔薇の美術館〉を開設する戦略です。今岐阜は『花が似合う岐阜』として着実に前進しています。

花の生産は愛知県がダントツで日本一です。でも「花かざり」見せることは岐阜県に負けています。岐阜県は張り切っています。その要因の一番は『花戦略』だと思います。

かつて行政は『花いっぱい運動』をよくやりました。その言葉は終わり、今は『花のある街づくり』という時代です。同じではないかと思いますが微妙に違います。『花いっぱい運動』は花の種を配り、庭に蒔いて下さいという事です。以前栄の広場で市長と一緒によく配りました。それはがむしゃらなハード戦略でした。対して『花のある街づくり』は『街のおしゃれ化』花と緑の事でソフト戦略です。それにボランティアの参加です。浜名湖花博にも大活躍していますし、

愛知万博にも沢山の参加者が有ります。ようやくその時代がやってきました。参加者はお金はいらないけれど、"花博に貢献したい"というお墨付きが欲しい為です。ほとんどが女性で、やっぱり「ゆとりの日本」だと感じます。いくら他国で戦争をしていても、暗いニュースが多くても、くらしに潤いを与える心の癒しにつながる、花と緑の時代です。

花は色々な意味で役に立っています。私も退職後自宅の庭をビューティフルにしました。色々な人が見に来られてビューティフルと言われました。でも義父は"手間が掛かる庭だなあ"と言いました。そうですお金が掛かります。また最近、宅配員の方が"お宅の庭に来ると深呼吸がしたくなる"と言ってくれました。人によってとらえ方も色々あり違うことを知りました。

『オープンガーデン』と言う言葉があります。これは「私の庭を見て下さい、お見せします」と言う意味です。クリスマスのライトアップと同じ様に今「お庭拝見」が流行っています。それも女性が多いです。そのお手本は英国です。英国人の事を『庭師の国民』と言い、ガーデニングは国民的趣味と言われています。日本人の国民的趣味はゴルフでもないし、カラオケ、麻雀でもなく、ガーデニングも流行っていますが、決めつける様な国民的趣味のレベルでもありません。園芸先進国の英国と日本の『花育て 花かざり』の差はどのくらいかと言うと30年はあります。日本は園芸発展途上の国です。英国には『オープンガーデン』〈私の作ったおしゃれな庭を見て下さい〉という制度が有り、それには住所録があり、その住所録を持ってみんなが見て廻ります。日本でもその『オープンガーデン』が始まっています。

『ガーデンパーティ』という言葉もあります。これは「私の沢山あるコレクションを見て下さい」「私の庭はこんなに素晴らしいよ 見に来ませんか」から始まりました。自分たちの素晴らしい庭を夫婦だけで楽しむのはもったいないので、みんなに見て貰いたい。そして見て貰えるならティーとスコーンでサービスしましょう。さらにお酒を出す様になったり、と主催者はみんなに見て貰うことでとても気分が良いらしいです。それがガーデンパーティの始まりです。

岐阜県知事もこの『英国風ガーデンパーティ』を見習って『花フェスタ記念公園』にて3千人の大園遊会を昨年と今年されました。引き続き毎年開催するそうです。大型のものは園遊会、個人的なものはガーデンパーティと言います。これから日本もそうなると思います。その前兆が『ガーデンウェディング』です。結婚式をガーデンでやることです。アウトドアが流行っている今、ホテルで挙式をされる方が減っています。

これから『花と緑の街づくり』は行政に任すだけでなく、そこに住んでいる地域住民がボランティアとして協力して行政を動かして下さい。奉仕活動をするからもっと街をきれいにしましょうと言う時代に入ってきました。

今後、あおいパークが『花と緑の街づくり』に貢献する事は間違ひ有りません。あおいパークの開園時ロータリークラブから2~3百万円の寄付を頂いたそうですが、浜名湖花博が終了したら、あおいパークが充実するように又バックアップをお願いします。今日は有り難うございました。

次回案内 7月14日（水）インフォーマル・ミーティング
午後5時より